

# RHAON II

## V2.5.1 リリースノート

### 新着情報

- 最新の Windows SDK に対応しました。
- 細かな不具合を改善しました。

## 目次

1	RHAON II 2.5.1 (2024年10月25日)	3
1.1	改善された機能	3
1.2	バグフィックス	3
2	リリースヒストリー	3
2.1	RHAON II 2.5.0	3
2.2	RHAON II 2.4.4	5
2.3	RHAON II 2.4.3	7
2.4	RHAON II 2.4.2	7
2.5	RHAON II 2.4.1	7
2.6	RHAON II 2.4.0	7
2.7	RHAON II 2.3.3	7
2.8	RHAON II 2.3.2	7
2.9	RHAON II 2.3.1	8

# RHAON II Software Release Note

## 1 RHAON II 2.5.1 (2024 年 10 月 25 日)

### 1.1 改善された機能

---

- 最新の Windows SDK をターゲットにするよう AVDECC ライブラリを更新しました。
- 最新の Windows SDK をターゲットにするように Dante API ライブラリを更新しました。

### 1.2 バグフィックス

---

- 新しいプリセットを保存した後に「Different Steering」のメッセージが表示される問題を修正しました。
- アクティブゾーン内から「Column Order」が機能しないことがある問題を修正しました。
- ビームを調整した後、BeamWare 内で音圧マップが表示されないことがある問題を修正しました。
- BeamWare を閉じるときにエラーメッセージがポップアップ表示され、タスクマネージャー内からタスクを終了しなければならないことがある問題を修正しました。

## 2 リリースヒストリー

### 2.1 RHAON II 2.5.0

---

#### 新しい BeamWare 機能

- OmniBeam が RHAON II 2.5.0 で利用できるようになりました。OmniBeam は、ビームステアリングサウンドシステム用の革新的なツールで、ビームステアリングスピーカーのカバレッジと音のバランス性能を向上させると同時に、ビームステアリングスピーカーの使いやすさを大幅に向上させ、最終的には現場での調整にかかる時間短縮とリソースに割く時間節減に役立ちます。

#### 新しい DSP ファームウェア

- すべての -RD(Dante 搭載モデル)に V38DSP レイアウトが含まれるようになりました
- RD モデルでアナログオーディオのノイズフロアが高くなる可能性がある問題を修正しました。
- すべてのモデルに、入力に何かトラブルがあった際に自動的に切り替わる優先フェイルオーバー機能を追加。
- IC、ICL、および ICLX-RD モデルの場合、RHAON での選択に基づいて、Dante または AES からアナログにフェイルオーバーが切り替わります。
- SA アンプを搭載した-RD モデルで、Dante からアナログへのフェイルオーバースイッチ
  - ・ C シリーズ
  - ・ T シリーズ
  - ・ P シリーズ
  - ・ S シリーズ
  - ・ Varia
  - ・ IC サブウーハー

- DR18/2-RD
- PN212-RD
- 適切なフェイルオーバーパフォーマンスのために Pilot Tone Filter Control を追加します。

**重要:** DSP ファームウェアを更新する前に、後述の MCU ファームウェア(制御チップのファームウェア)を更新する必要があります。-RN デバイスまたは-RD1 デバイスは含まれません。

#### 新しい MCU ファームウェア

- すべての-RD モデルには、Brooklyn3 Dante カードと新しい V38DSP レイアウトをサポートするために更新された MCU ファームウェアがあります。
- すべての Iconyx Compact モデル(-RD1、-RN、-RA)には新しい MCU ファームウェアがあります。
  - 新しい Dante ファームウェア
  - Brooklyn3Dante カードのサポートを追加しました。
  - すべての Brooklyn2 デバイスはバージョン 1.XX.dnt ファームウェアを使用します。

すべての Brooklyn3 デバイスはバージョン 2.XX.dnt ファームウェアを使用します。

#### 機能改善

- BeamWare:ビームステアリングをアレイグループに送信するときに、現在アレイ内のどこの列に FIR データが送信/検証されているかに関するフィードバック機能を追加しました。
- Iconyx および ICLiveGen5 に、OmniBeam が有効になっている場合の EASE データエクスポート機能が追加されました。

IC Live X でサポートされる新しいアレイタイプ

- XL-X-X-X
- XL-X-X-X-X
- X-X-X-X-LX

#### バグフィックス

- BeamWare で作業中に「未処理の例外」エラーが発生することがある問題を修正しました。
- Priority Override 設定が正しく設定されないことがある問題を修正しました。

RHAON II が正しく終了せず、終了画面でハングアップすることがある問題を修正しました。

#### 新しい MCU ファームウェア

- Iconyx Compact

Iconyx Compact の電源を入れ直すとプリセット「00」をリコールすることがある問題を修正しました。

- ・ ICC-RN:1.02.153
- ・ ICC-RD1:1.02.158
- ・ ICC-RA:1.02.158

#### 新しい Dante ファームウェア

- Dante 対応 RHAON デバイスの.dnt ファームウェアは、Dante Controller 内の Dante Updater などの Audinate のソフトウェアツール内で更新できます。
- Audinate Brooklyn2 カードと RHAONMCU ネットワークチップセット間の問題に対処するためにリリースされた新しい.dnt ファームウェアです。

これらの問題により、Dante 再生時に時々ポップ/クリックノイズが発生する症状から、ネットワーク通信が断続的に発生する症状まで、さまざまな症状が発生していました。

修正は以下の製品に適用されます:

- ・ Iconyx Gen5:全モデル
  - ・ IC-RDv1.1.3
  - ・ IC-RD-Ov1.1.3

**重要:** IC Gen5.dnt アップデートでは、本体が Dante 入力で 6dB 早くクリップしてしまう原因となっていたビットシフト問題も修正されています。

更新された.dnt ファイルにより、入力感度が 6dB 低下し、ピークヘッドルームが 6dB 増加し、プロセッサ/コンソールの出力レベルが 6dB 増加しますが、全体的な出力レベルは同じです。

- ・ ICLiveGen5:全モデル
  - ・ ICL-F-RDv1.1.3

**重要:** ICLiveGen5.dnt アップデートでは、本体が Dante 入力で 6dB 早くクリップしてしまう原因となっていたビットシフト問題も修正されています。

更新された.dnt ファイルにより、入力感度が 6dB 低下し、ピークヘッドルームが 6dB 増加し、プロセッサ/コンソールの出力レベルが 6dB 増加しますが、全体的な出力レベルは同じです。

- IC Live X シリーズ:全モデル
  - ・ ICLX-RDv1.1.3

- ・ SA アンププラットフォーム
- ・ SA-RDv1.1.3
- ・ C シリーズの全モデル
- ・ T シリーズの全モデル
- ・ P シリーズの全モデル
- ・ S シリーズの全モデル
- ・ IC シリーズサブウーファースの全モデル
- ・ PN102LA-RD
- ・ DRS18-2-RD

#### 機能改善

- VisualC++再頒布可能パッケージへの更新
- -RN デバイスを正しく検出するには、NPCA インストーラーが必要になりました。RHAON2 インストーラーは、NPCAP 再頒布可能ライブラリの最新バージョンをインストールするようにユーザーに指示します。
- NPCAP アップデートは「WinPcap API-compatible Mode」でインストールする必要があります

#### バグフィックス

- Dante Domain Manager ドメインとアドホックネットワークを切り替えるときにネットワーク検出が失敗することがある問題を修正しました。
- RHAON が開いているときに ICC-RD1 デバイスがネットワークから削除されると、RHAON が正しく閉じない問題を修正しました。
- 内部ロジックのマイナー修正。

#### 2.3 RHAON II 2.4.3

---

#### 2.4 RHAON II 2.4.2

---

#### 2.5 RHAON II 2.4.1

---

#### 2.6 RHAON II 2.4.0

---

#### 2.7 RHAON II 2.3.3

---

#### 2.8 RHAON II 2.3.2

---

